

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成30年5月10日(2018.5.10)

【公開番号】特開2016-202445(P2016-202445A)
【公開日】平成28年12月8日(2016.12.8)
【年通号数】公開・登録公報2016-067
【出願番号】特願2015-85998(P2015-85998)
【国際特許分類】

A 6 1 N 1/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/18

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月21日(2018.3.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患部に対し、筋収縮を起こさせない微弱な電流刺激を発生させる電気信号を、患部に配置した導子を使用して患部に供給する電流刺激装置であって、

電流を徐々に上昇させるランブアップタイム及び徐々に電流を下降させるランブダウンタイムがそれぞれ 1 秒より大きい出力モードであって筋出力を向上させる第 1 の出力モードに従った電流を出力することを特徴とする電流刺激装置。

【請求項 2】

患部に対し、筋収縮を起こさせない微弱な電流刺激を発生させる電気信号を、患部に配置した導子を使用して患部に供給する電流刺激装置であって、

電流を徐々に上昇させるランブアップタイムおよび徐々に電流を下降させるランブダウンタイムがそれぞれ 1 秒より小さい出力モードであって筋出力を抑制させる第 2 の出力モードに従った電流を出力することを特徴とする電流刺激装置。

【請求項 3】

患部に対し、筋収縮を起こさせない微弱な電流刺激を発生させる電気信号を、患部に配置した導子を使用して患部に供給する電流刺激装置であって、

電流を徐々に上昇させるランブアップタイムおよび徐々に電流を下降させるランブダウンタイムがそれぞれ 1 秒より大きい出力モードであって筋出力を向上させる第 1 の出力モード、又は前記ランブアップタイムと前記ランブダウンタイムがそれぞれ 1 秒より小さい出力モードであって筋出力を抑制させる第 2 の出力モードに従った電流を出力することを特徴とする電流刺激装置。

【請求項 4】

前記第 1 の出力モードと前記第 2 の出力モードのいずれかを任意に選択するモード設定手段を備え、選択されたモードに従った電流を出力することを特徴とする請求項3に記載の電流刺激装置。

【請求項 5】

前記第 1 の出力モードのランブアップタイムとランブダウンタイムは 1.1 秒以上 4 秒以下であることを特徴とする請求項 1 または請求項 3 に記載の電流刺激装置。

【請求項 6】

前記第 2 の出力モードのランブアップタイムとランブダウンタイムは 0.1 秒以上 0.9

秒以下であることを特徴とする請求項 2 または請求項 3 に記載の電流刺激装置。

【請求項 7】

導子に出力する 1 0 0 0 μ A 以下の微弱な電流の制御方法であって
電流を徐々に上昇させるランプアップタイムおよび徐々に電流を下降させるランプダウン
タイムが 1 秒より大きい第 1 の出力モード又は、前記ランプアップタイムと前記ランプダ
ウンタイムが 1 秒より小さい第 2 の出力モードに従った電流を導子に供給することを特徴
とする制御方法。